

## 泌尿器科後期研修カリキュラム

### 【一般目標】

安心と信頼の医療を提供するために、泌尿器科医として要求される幅広い臨床能力を習得し、将来の専門医資格取得のための基礎をつくる。

### 【行動目標】

1. 泌尿器科臨床に必要とされる鑑別診断、検査および治療法を習得し、外科的疾患の手術適応、術式の選択、術前・術後管理について習熟する。
2. 泌尿器科検査手技を習熟し、泌尿器科手術全般を経験し、手術手技を習熟する。
3. 泌尿器科医として研修医、コ・メディカルを指導する能力を習得する。
4. 患者および患者家族との対応能力を習熟する。
5. 専門医試験受験に必要なとされる要件を満たす。

### 【方略】

1. 外来・入院患者を主治医として担当する。
2. 執刀医、助手として泌尿器科手術全般を担当する。
3. 泌尿器科当番を担当する。
4. 指導医のもと ICU、救急を担当する。
5. 指導医のもと全身麻酔を担当する。
6. 症例検討会で発表、討議をする。
7. 学会発表および論文投稿を行う。

### 【週間スケジュール】土曜日は第一、第三のみ

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診	外来	病棟回診	外来	病棟回診	外来
午後	手術	手術	検査	検査	手術	
夕刻	放射線カンファ 症例検討会		医局会	部長回診		

**【評価】**

項目	評価者	時期	評価法
経験した疾患分野	自己、指導医	3ヵ月毎	自己記録
カンファレンスでの提示	自己、指導医	毎週	口頭
学会発表、論文投稿	指導医	毎年	自己記録、口頭

**【別に定める事項】**

1. 主治医として担当すべき入院患者の疾患分野および手術経験数：  
日本泌尿器科学会の専門医受験要件を満たすよう、幅広い分野の疾患を経験。  
(日本泌尿器科学会入会后6年経過すれば専門医試験受験資格が得られる。)
2. 目標とすべき学会発表数；年間2演題
3. 目標とすべき論文数；年間1論文